

令和8年6月26日

保護者 様

鈴鹿市立河曲小学校
校長 大西 真人

学校での熱中症対策について

日頃より、保護者の皆様には本校の教育活動につきまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、早いもので6月も終わりです。来月からは最高気温が30度の日も予報されるなど、体調不良や熱中症等が心配されます。今後、暑さがますます厳しくなることが予想されます。本校では、次のとおり熱中症対策を講じていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

1 登下校時の帽子の着用と日傘の活用

- ◆ 登下校時帽子をできるだけ着用するようにします。
- ◆ 1時間近くかけて登校する地区もあり、日傘の活用は効果的です。登下校時の日傘の活用については、ご家庭の判断で対応をお願いします。学校周辺の交通状況等、以下の児童の安全上から、全校児童一斉での登下校中の日傘利用は予定していません。

- ・日傘をさしている児童の傘が、さしていない児童の頭や顔等に接触することによるけが
- ・日傘と自動車、自転車等との接触事故
- ・日傘で手がふさがっていることによる転倒事故

以上は、学校で指導いたしますが、ご家庭でも安全面でのご指導をお願いいたします。

なお、透明のビニール傘等は日差しを通してしまうのでご注意ください。

(熱がこもってしまい、体温の上昇につながる恐れがあり、逆効果となります。)

2 運動に関する指針

- ◆ 屋外で運動をする際は、運動場のサッカーゴールに設置した熱中症指数モニターの暑さ指数(WBGT)を確認し、その数値によって運動を実施するかどうか判断します。休み時間の校庭遊びも含まれます。(体育館ではエアコンがあるため運動できます。)
- ◆ 暑さ指数の数値によっては活動を制限します。

暑さ指数			
31以上	運動は中止	28~31	嚴重警戒(激しい運動中止)
25~28	警戒(積極的に休息)	21~25	注意(積極的に水分補給)
21未満	ほぼ安全(適宜水分補給)		

- ◆ 保健室前及び職員室に数値を記入し、一斉放送を入れて周知内容を徹底します。
- ◆ 暑さが厳しい時期は、外での活動や徒歩での校外学習等を計画しないようにします。
- ◆ 熱中症警戒アラートの発表情報を確認し、発表内容に応じた対応をします。

3 水分補給

- ◆ 体育の授業中、外での活動時は水筒を持参させ、適宜、水分補給の時間をとります。
- ◆ 登下校の途中でも水分補給ができるよう班長に指導します。
- ◆ その他、こまめな水分補給を呼びかけます。

4 その他

- ◆ 当日の暑さ指数や気温、並びにお子様の体調によって、10月9日(金)までの期間
○ランドセルではなく、通気性のよいリュックサック等(両手が空くもの)への変更
○糖分の過剰摂取にならないようご配慮いただいた上での、スポーツドリンクの持参
○クールネック、冷感タオル・帽子等の使用
をご家庭で判断いただき、選択していただいで結構です。
- ◆ 各教室のエアコン、扇風機を有効活用します。その際、定期的に窓やドアを開け、換気もしていきます。
- ◆ 水分は多めに持たせるようにしてください。
- ◆ 汗で服が濡れることが予想されます。濡れた服で冷房にあると健康上よくありませんので、汗をかきやすいお子様の場合は着替えなどもご用意されるとよいかと思います。また、ハンカチや汗ふきタオルのご用意を忘れずをお願いします。
- ◆ エアコン等で教室が肌寒く感じるお子様には、上着を持たせてください。
- ◆ 暑さが厳しくなっていくこの時期は、持病があるお子様だけでなく、健康上問題がないお子様であっても、寝不足や風邪気味などわずかな体調不良の影響により、熱中症で倒れることがあります。熱中症による救急搬送件数は年々増えてきており、最悪の場合は短時間で命を落としてしまう危険性もあります。保護者の皆様には、日々のお子様の健康状態を十分に把握し、無理のないように生活させていただきたくお願いいたします。
- ◆ 「携帯扇風機(ハンディファン)」については、内蔵されているリチウムイオン電池の爆発・発火事故が多発しており、安全上、学校への持ち込みは禁止しています。
- ◆ 塩分補給のためのタブレット等の持参はできません。
(食物アレルギー物質事故防止のため、水筒持参などにより対策が可能なため)
- ◆ 校内でのスプレータイプの冷却剤や虫除けスプレーの使用はできません。
(周囲の児童への影響があるため)
- ◆ 記名できるものには、すべてに記名をお願いします。